水と土の芸術祭 Water and Land Niigata Art Festival 2018
beyond 2020

「醸す」新潟古今遥遥

【KAMOSU】NIIGATA KOKON SOZOROARUKI

新潟の豊かな水と土が育んできた
古くから守り継がれているものに
現代の新たな風を入れ光を当てることにより
新潟から世界に発信していける文化を醸します

手塚眞監督『OKUAGA』上映
×パフォーマンス×アフタートーク

2018年8月31日(金)～9月3日(月)

【参加費／各公演とも】高校生以上 2,000円
小・中学生 1,000円
※乳幼児無料ですが、席が必要な場合は有料となります。

会場 今代司酒造／にいがた銀花
秋葉硝子／ギャラリー蔵織

協力 シネウインド　**主催** わいわい夢工房

私の大好きな場所で、大好きな方たちと、
素敵な時間を創りたいと企画しました。
「醸す」のは、あなたです！
―わいわい夢工房　大橋 宏子

お申込み TEL 080-6625-7393（大橋）
hororinpit@gmail.com

[KAMOSU] NIIGATA KOKON SOZOROARUKI

「醸す」新潟古今逍遥

新潟市内４つの地域で時を重ねてきた蔵、工場、民家を舞台に、それぞれの
特色を生かしそのときそこでしか味わえない豊かなひとときを醸し出します。

各公演内容

1. 手塚眞監督【OKUAGA】上映
2. パフォーマンス
3. アフタートーク

奥阿賀を訪れて、すっかり魅了され、どうしても映画が撮りたくなりました。古代から現代に至る阿賀の長い時間の流れを、１本の川に見立てました。これは、阿賀に対する純粋な気持ちです。

―手塚眞監督からのメッセージ

『OKUAGA』2017/HD/カラー/20 分
構成・監督：手塚眞　出演：松崎友紀　音楽：田口雅之　撮影：辻健司

パフォーマンス出演者紹介

Photo by bozzo

飯塚 友浩
Tomohiro Iizuka

コンテンポラリーダンサー（東京都）

東京都出身。17 歳より川井久美の下でモダンダンスを踊り始める。母 LilyIguchi の元でカントリーラインダンスの講師、振付家としても活動中。韓国、マレーシア、スペイン、ラスベガス等世界各国で振付、ワークショップを行っている。
Vegas Dance Explosion2014（ラスベガス）にて振付部門で１位を受賞。現代舞踊公演、文化庁主催都民芸術フェスティバル、新国立劇場オペラなど出演多数。

Photo by David Teixeira

松崎 友紀
Yuki Matsuzaki

即興舞踊家・アーティスト（新潟市）

新潟県佐渡市出身。
手塚眞監督作品『OKUAGA』主演。モダンダンスを厚木凡人に師事し２００７年　手塚眞監督「惑星 TE ト LA」出演より即興舞踊を開始する。２０１０年スペインマドリッドにて『DANZA JAPONESA』出演。水と土の芸術祭ほか芸術祭にて出演多数。さどの島銀河芸術祭 2018 作家。

Photo by Ayako Kadota

伊澤 陽一
Yoichi Izawa

スティールパン奏者（所沢市）

1978 年 埼玉県所沢市出身、東京音楽大学卒。
2000 年 Steel Pan 奏者として演奏活動をはじめる。
2007 年本場トリニダード・トバゴ共和国にて開催するスティールパンコンテスト「PANORAMA」に現地のオーケストラメンバーとして出場。総勢 50 人以上のスティールパンオーケストラ「WAIWAI STEEL BAND」を主宰し今までに 5 枚の CD アルバムをリリース。音楽を通し、「喜び」「音の記憶」を探求し演奏活動している。

～会場ごとに内容も変化していくことで、続けて観る楽しみもあります～

8月31日(金) 開演19:30
今代司酒造

【出演】
松崎 友紀
飯塚 友浩
伊澤 陽一

〒950-0074
新潟市中央区鏡が岡１番１号
定員 25名

9月1日(土) 開演15:00
銀花 naya

【出演】
松崎 友紀
飯塚 友浩
伊澤 陽一

〒953-0012
新潟市西蒲区越前浜 6827
定員 30名

9月2日(日) 開演15:00
秋葉硝子

【出演】
松崎 友紀
伊澤 陽一

〒956-0833
新潟市秋葉区草水町 2-12-32
定員 40名

9月3日(月) 開演13:30
ギャラリー蔵織

【出演】
伊澤 陽一
※駐車場がございませんのでご注意ください。

〒951-8062
新潟市中央区西堀前通 1-700
定員 15名

主催：わいわい夢工房（代表　大橋 宏子）
お申込み：080-6625-7393 hororinpit@gmail.com

※各会場とも開演 30 分前に開場します。

題字：後藤 嵩道　チラシデザイン：飯島 千秋